

第 24-017 号
2024 年 12 月 19 日

特別回報

外航組合員各位

2025 保険年度の国際 P&I グループ再保険プログラムについて

2025 保険年度の国際 P&I グループ (IG) 再保険プログラムが決定しましたのでご案内申し上げます。

1. 再保険スキーム

2025 保険年度の IG 再保険プログラムのスキームは、以下のとおりです (2024 保険年度から変更はありません)。

- クラブ保有額 : 1 千万米ドル
- グループ保有額 : 1 億米ドル (1 千万米ドルを超える 9 千万米ドル部分)
- General Excess Loss (GXL) Cover : 20 億米ドル (1 億米ドルを超える 20 億米ドル部分)
- Collective Overspill Cover : 10 億米ドル (21 億米ドルを超える 10 億米ドル部分)

詳細につきましては、添付のダイアグラムをご覧ください。

2. てん補限度額

次の損害に対する 2025 保険年度のてん補限度額は、以下のとおりです (2024 保険年度から変更はありません)。

- 油濁損害 : 10 億米ドル
- 船客と船員との複合損害 : 30 億米ドル
- 船客の単体損害 : 20 億米ドル

3. Excess War P&I 再保険

ロシア・ウクライナ戦争が続いている現状に鑑み、IG の Excess War 再保険者は、ロシア・ウクライナ・ベラルーシ周辺の海域を航行する船舶に関するてん補除外 (除外地域は、P&I 戦争保険の再保険者が適用しているものと同一) を継続することになりました。そのため IG は、当該除外地域について、再保険マーケットから総額 1 億米ドルを上限とするカバーを購入いたしました (2024 保険年度の 8 千万米ドルから増額となります)。

4. 船種別 IG 再保険料率

IG では、現在の 5 つの船種カテゴリを変更せず、再保険における過去のクレーム実績を踏まえて再保険料率を調整することといたしました。

2025 保険年度の船種別 IG 再保険料率は、以下のとおりです。

船種カテゴリー	2025 保険年度料率 (US\$/GT)	対前年比増減 (US\$/GT)	対前年比増減率 (%)
Persistent oil tankers	0.6258	+0.0095	+1.5
Clean tankers	0.4337	+0.0355	+8.9
Dry cargo vessels	0.6054	+0.0191	+3.3
Fully Cellular Container vessels	0.8903	+0.1699	+23.6
Passenger vessels	3.4390	+0.0548	+1.6

5. 更改経緯

2022 および 2023 保険年度は、プールクレームが比較的穏やかな状況でしたが、2024 保険年度は、2019～2021 保険年度と同様の水準まで高額化しており、ボルチモアにおける橋崩落事故も発生しています。また、活発なハリケーン・シーズンの到来により、IG の再保険者にとってはやや厳しい年となりましたが、IG 再保険のリーダーである Axa XL およびその他の再保険者との建設的な取り組みにより、すべての関係者にとって公平な更改結果に達することができました。

詳細につきましては、IG の[プレスリリース](#)をご覧ください。

以上

添付：2025 保険年度 IG 再保険プログラム

IG再保険プログラム（2025保険年度）

<その他P&Iクレーム>								約91億米ドル	4
Pool (Overspill) (約60億米ドル)								31億米ドル	
Collective Overspill Layer (10億米ドル) Excess of underlying				<船客 + 船員クレーム>				30億米ドル	
								21億米ドル	
3rd Layer **** (6億米ドル) Excess of underlying				<船客クレーム>				20億米ドル	3
								15億米ドル	
2nd Layer **** (7.5億米ドル) Excess of underlying				<油濁クレーム>				10億米ドル	
				2nd Layer **** (2.5億米ドル) Excess of underlying				7.5億米ドル	
*** 10% share	** 10% share	* 5% share	1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra	*** 10% share	** 10% share	* 5% share	1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra	1億米ドル	2
7.5% クレーム提起 クラブ保有			Upper Pool (5千万米ドル-1億米ドル covered Hydra)					5千万米ドル	
Lower Pool (3千万米ドル-5千万米ドル covered Hydra)								3千万米ドル	
Lower Pool (1千万米ドル-3千万米ドル)								1千万米ドル	
クラブ保有								0	1

- 1千万米ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 1千万米ドルから1億米ドルまで
プールと称し、IG加盟クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち3千万米ドルから1億米ドルまではHydraへ出再。
- 1億米ドルから21億米ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(*、**および***は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定額再保険)
1st Layerから3rd Layerに分かれており、各Layerごとに参加している再保険会社が異なる。
1st Layer: 1億米ドルから7.5億米ドルまで。
2nd Layer: 7.5億米ドルから15億米ドルまで。
3rd Layer: 15億米ドルから21億米ドルまで。
なお、1st Layerのうち、75%はマーケット再保険者に出再、同再保険カバーには1.071億米ドルの免責金額が設定されている。同免責額まではHydraがカバーする。

**** 悪意のあるサイバー攻撃に起因する損害と新型コロナウイルス感染症／その他の感染症に起因する損害については、それぞれ合計13.5億米ドルの年間累積回収限度額が設定されている。
2nd Layer: 年間累積回収限度額:7.5億米ドル（油濁クレームは1事故あたり最大2.5億米ドル）
3rd Layer: 年間累積回収限度額:6億米ドル
- 21億米ドルから約91億米ドルまで
オーバースpillと称し、IG全クラブメンバーで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金（オーバースpill保険料）により賄う。
なお、オーバースpillのうち、21億米ドルから31億米ドルの部分についてはマーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億米ドル、船客にかかわる責任は20億米ドル、船客と船員にかかわる責任は30億米ドルの上限が設定されている。